



東京藝術大学 美術学部 絵画科

日本画 2015

美術学部 アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

美術学部では、120年を超える歴史のなかで、美術の各分野において、時代を代表する作家、研究室者、教育者を輩出してきました。

本学部は、こうした伝統のなかで培われた創造性を身につけ、新たなる時代に対応し、優れたオリジナリティを発揮できる人材の育成を目的としています。本学部で学ぶなかで蓄積された技芸と知識を修得し、さらにその成果を革新し、発展させ、広く世界の文化と社会のために貢献する能力が望まれます。

こうした理念を踏まえ、真摯な姿勢で、教員とともに研鑽を積み、美術の世界に、豊かな収穫をもたらす学生を広く求めています。

カリキュラムポリシー

日本画の基本的な技法を通して日本画材への理解と造形感覚とを体得し、作家として創造活動ができるような能力を養うことを目標としています。

主な授業科目としては、人物・風景・静物・動植物画、版画・壁画の制作、古典模写、人物素描、材料研究、古美術研究旅行、写生旅行等があり、学年別に定められた時間内で履修させます。

学部においては、1, 2学年を基礎課程と位置づけ、伝統的な技法の修得、造形・表現力を養うことを目的とし、また、3学年を発展課程とし、自由課題を主に前述の事項をさらに前進させ、最終の4学年では集大成となる大作を制作し、卒業制作展で発表します。

日本画科の理念と目標「伝統を基盤とした現代絵画の創造」

日本画材や道具に対する理解を深め、「日本画」の今後を担う問題意識と意欲を持ち、現代における絵画表現を追求する作家・教育者を育成すること、これが日本画専攻の使命であり、理念であると考えます。

今日、人々の価値観や生活スタイルの変化に伴い美術のみならず日本を取り巻く環境は大きく変化しています。このような変革期中、自国の伝統文化への深い理解と考察は、表現に対する真摯な問いかけでもあり、真の国際化に向けての第一歩とも言えるでしょう。

教員

関 出 教授	村 岡 貴美男 非常勤講師
手 塚 雄 二 教授	廣 瀬 貴 洋 非常勤講師
梅 原 幸 雄 教授	荒 木 亨 子 非常勤講師
齋 藤 典 彦 教授	石 原 孟 教育研究助手
吉 村 誠 司 准教授	上 野 高 教育研究助手
植 田 一 穂 准教授	関 谷 理 教育研究助手
喜 多 祥 泰 助教	繭 山 桃 子 教育研究助手
	西 岡 悠 妃 教育研究助手
	岩 谷 駿 教育研究助手
	窪 井 裕 美 教育研究助手
	長 澤 耕 平 教育研究助手

(平成 27 年度現在)



植物制作風景（1年）



芸術祭（日本画の御輿が大賞を受賞）



東北写生旅行（2年）

日本画の授業風景

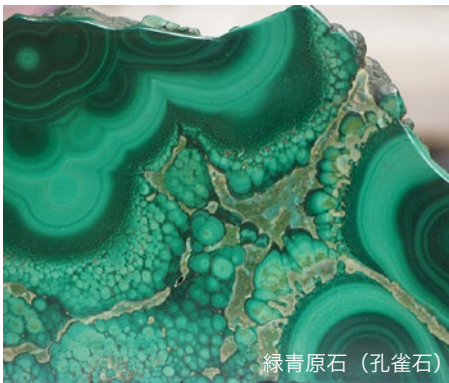
基礎課程に相当する1,2年次では、植物（百合）制作をはじめ、写生を基本とした、幅広い課題に取り組み造形力を養います。発展課程としての3,4年次では、自主的に創作テーマを設定して自由課題に多く取り組み、作家活動に不可欠な企画力・発想力を育みます。東北写生旅行や版画／壁画実習、古美術研究旅行など日本画技法材料の熟練度に沿って効果的に配された高度な実習・講義を通じて、基礎課程で習得した技法や表現力を発展させ、集大成としての卒業制作に取り組みます。3つの研究室からなる大学院では、それぞれの研究テーマに沿った創作研究活動を行い、さらなる造形力・創造力の養成、知識の習得を目指します。



古美術研究旅行（3年）



箔講義（1・2年）



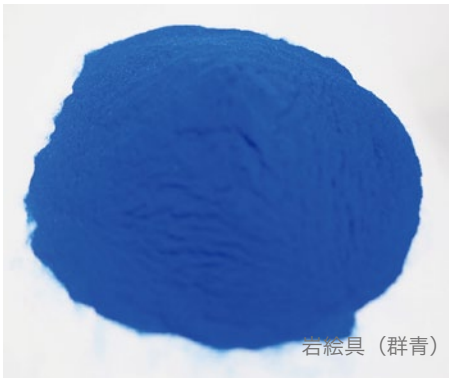
緑青原石（孔雀石）



制作風景（4年）



筆講義（3年）



右絵具（群青）



修了制作 制作風景（修士2年）



国宝伴大納言絵巻 模写



卒業制作展（東京都美術館）



修了制作展（大学美術館）

入試について

東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻の入試選抜は、大学入試センター試験、本学が実施する実技試験、出身学校長から提出された調査書の各資料を総合的に判断し合格者を決定します。実技試験は一次選抜として「鉛筆素描」を行い、一次選抜合格者のみが、二次選抜「着彩写生」を受験します。詳細については11月に発行する『平成28年度東京藝術大学学生募集要項』、または藝大HP（ホームページ：www.geidai.ac.jp）の更新情報を確認してください。

出題について（H27年度）



- ◀ 一次試験
- 鉛筆素描：モリエール
- 2日間で鉛筆素描一枚を完成させなさい（12時間）

- ▼ 二次試験
- 着彩写生：以下、すべてのモチーフを構成して2日間で着彩写生すること（11時間）
- ・雛芥子（ヒナゲシ）

・ガラス器（筒型）

・ガラス器（ボウル型）

・布

・リンゴ（赤1、青1、黄1）

・サトイモ

・ホオズキ

・レモン

・ライム

・タマネギ

・白い額
- ・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

- ※ 用意されたモチーフはすべて、画面に描くこと。
- ※ 雛芥子（ヒナゲシ）の茎の長さは、自由に短くしてよい。切った茎は描かなくてよい。
- ※ 用意された二つのガラス器の中の水は、どちらのガラス器に移して写生しても自由である。
- ※ 画面の白い額の中には、受験者が自由に創作した絵を加えること。（用意された白い額の中に入っている紙は、創作した絵の下書きに使用してもよい。）
- ※ 上記に記した白い額の中の絵には、用意されたモチーフを写生してはいけない。



進路について

現状の学部卒業後の進路について

さらに研究を深めるため、大学院修士課程へ進学する学生が多いですが、教職に就くもの、就職を希望するもの、様々です。

将来的には、作家として個展・公募展・グループ展等で自作品を発表し美術界の第一線で活躍している者、小・中・高等学校、国内外の美術・教育系大学の教員、美術系予備校などの講師に採用される者も多数います。また近年、国費留学生・私費留学生として海外へ留学する者も多くなっています。

主な就職先に関しては下の実績をご覧ください。

アイラック	カイカイキキ	コナミ	ニュートン	本学教育研究助手
あべクリニック	北四国グラフィア印刷	サイバーエージェント	美術系予備校 職員・講師	ポリフォニー・デジタル
AQ インタラクティブ	QLUTCH	三松	美術館・博物館 学芸員	マロウ
NHK エデュケーションル	公立・私立美術系大学教員	サンルイ皮ふ科シャポヌ	福祉施設	漫画家
HK フューズ	公立・私立 高等学校・中学校教員	専門学校 職員・講師	フロムソフトウェア	三松
小津商店	国立印刷局	チームラボ	文化講座 運営・講師	レオンコンサルティング
オリエンタルランド	国立美術・教育系大学教員	凸版印刷	保存修復関連	UCC フードサービス 等

Q&A 学部入試について

- Q センター試験の結果はどのくらい比重がありますか？
- センター試験の結果での足切はありますか？
- A 採点に関することは公表できません。

- Q 採点方法は？
- A 採点に関することは公表できません。

- Q 実技の使用道具の基準があいまいだと思うのですが？
- A 実技試験で利用できる道具は、学生募集要項に記載してあるとおりです。今後も基準の徹底、改善を図り、より公平・公正な試験を実現できるよう配慮していきます。

- Q 違反道具を使っている場合、どう対処されるのですか？
- A 監督者からの警告を受けその後も使用し続けた場合、失格となることもあります。また場合によっては、受験生に了承を得たうえで、一時的に試験本部で預かることもあります。その他の違反行為についても試験開始前に監督者からの注意事項がありますので必ず聞いて下さい。

Q&A 入学後について

- Q 平成28年度新入生は、取手校地に通うのでしょうか？
- A 学部1年次は上野校地で授業を行います。

- Q 他大学にはない藝大日本画の特徴は？
- A 一学年25人の少人数教育です。同級生や教員と密接にかかわる時間が4年間の大きな成果となるはずです。物をよく観察して描くという、写生を重視した課題や写生旅行をカリキュラムに取り入れ、4年間を通してじっくりと絵画制作する姿勢を学んでいきます。また、制作に必要な、絵具・箔・筆・模写等様々な実技講義の実施、藝大美術館所蔵品の特別観覧等を行い授業の充実をはかっています。その他、近接する国立博物館や科学博物館等、文化施設が多くある上野という立地環境の良さ、そしてなんといっても、1887（明治20）年の東京美術学校開校から125年を超える伝統の厚みも大きな特徴といえるでしょう。

- Q 藝大ではどのような施設・設備が使用できますか？
- A 日本画には、各学年専用の教室があります。学生が課題などの制作を行うための場であり、様々な実技講義を実施する場でもあります。取手校地日本画植栽実験園では、楮や三桠等和紙の素材に触れることもできます。その他大学美術館、陳列館、附属図書館、大学会館展示室、附属写真センター、絵画棟1F展示室（アーツスペース）、木材工房、芸術情報センター（AMC）、様々な共通工房、古美術研究施設（奈良）、那須高原研究施設、藝心寮（学生寮）等の使用が可能です。

- Q 合格者作品は公表されないのですか？
- A 現時点では考えておりません。出題をどう解釈したかも含め審査しています。公表することにより解答が画一化してしまうことを危惧しています。

- Q 今後、日本画専攻の定員は、27名になるのですか？
- A 平成27年度新入生は27名ですが、定員25名はかわっていません。平成28年度入試に関しても、定員に関してはわかりません。

- Q 悪天候や交通機関の遅れにはどのように対処しますか？
- A 状況に応じて対応しています。詳細は『平成28年度東京藝術大学学生募集要項』、または藝大HPの更新情報を確認してください。

- Q 障害のある入学志願者に対して特別措置はありますか？
- A 事前相談の制度があります。詳細は『入学者選抜要項』を参照して下さい。事前相談は、直前では対応できないことがありますので、必ず日数の余裕をもってご相談下さい。

- Q 日本画専攻は、お金がかかると言われますが、どのくらい必要ですか？
- A

・入学金：282,000円

・授業料：535,800円（2期に分けて納付します）

・古美術研究旅行積立金：90,000円

・厚生補導助成金：30,000円

・東北旅行（2年次写生旅行）：85,000円

・教材費（最初に買うものの目安）：46,400円

・杜の会会費：40,000円（平成27年度現在）
- 入学時にこれ等の金額が必要です。これ以外に、制作毎に画材費がかかります。
- 日本画材は高価なものという印象が強いようですが、一概にそうとばかりは言えません。学生たちは様々な工夫をして制作しています。

- Q 授業料免除・入学金免除の制度があると聞きましたが、どのようなものですか？
- A 本学には、経済的な理由、または学資負担者が1年前に死亡・被災したことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する制度があります。入学金に関しても同様に、全額または半額を免除する制度があります。逼迫した経済状態の者に対して選考のうえ、入学金や授業料の徴収を猶予する制度もあります。また、奨学金も各種あります。詳しくは東京藝術大学ウェブサイト内の「入学案内」→「学費と奨学金・免除制度」の奨学金制度の欄をご覧ください。
- www.geidai.ac.jp/life/scholarship